



柿の下処理方法の実演



講師の神崎敏夫さん

市食生活改善協議会講演会 「なぜ柿酢なのか」

11月7日、保健センターで市食生活改善協議会（会長：妹尾優子さん）主催の講演会が開催されました。

講師に市内の農業生産法人、有限会社ジュリエ・ファーム代表の神崎敏夫さんを迎えた講演会のテーマは「なぜ柿酢なのか」。

神崎さんは、柿の北限とされている伊達市内で実をつけるものの、生で食すことが少なく有効活用されていない渋柿から、誰でも失敗することなくできる「柿酢」を紹介。

講演会の最後には、神崎さんが自ら包丁を握り、渋柿の下処理など注意点をていねいに参加者に解説しました。

守ろう、大事な文化財

11月13日、総合公園だて歴史の杜にある「旧三戸部家住宅」などで文化財の防火訓練と立入検査が行われました。国は、文化財を火災などから守り愛護することを啓発する目的として毎年1月26日を「文化財防火デー」と定めていますが、市では、積雪が少なく火の扱いが急激に増えるこの時期に前倒しで行いました。

伊達消防署は、初期消火の大切さと何よりも火の取り扱いに注意を！と呼びかけました。



防火訓練の様子

どこまで引っ張ればおイモが出てくるの？



サツマイモ、大豊作！

10月30日、柔らかい日差しの中、京王幼稚園でサツマイモ掘りが行われました。

前日の雨で土が柔らかくなったといっても園児にとってはなかなかの大仕事。芋をやっと掘り当て、引き抜こうとしてもなかなか抜けず…。意外と女の子が上手に抜いたり、泥だらけになるのも気にしなかったりと楽しそうな様子でした。収穫されたサツマイモは園内で食べたり、園児が家に持ち帰ります。美味しいものを食べるには苦勞がつきものですね。

ほっとする町、暖かい町、 北の湘南伊達市をPR

伊達青年会議所が、株式会社伊達観光物産公社の協力で当市PR用のロゴマークを考案しました。

「伊達市に人が集まり地域への思いがつながる」伊達青年会議所メンバーのそんな思いを込めて、Dateの文字の「D」は伊達家の月を、種をまき(a)、芽が出て(t)、実がなる(e)過程をイメージしています。

12月下旬からこのロゴマークが印刷された買い物袋が市観光物産館で使用される予定です。



コロンとした形がかわいいデザインのロゴマーク

黄色い旗の波がドライバーの目を引いていました



冬に向けて、更なる交通安全を！

11月14日、前日からの寒さが残る中、だて歴史の杜大手門前の国道37号で「冬の交通安全旗の波運動」が行われました。

23日(土)までの10日間を冬の交通安全運動期間として、凍った路面などでのスリップによる交通事故の防止など4つの重点項目を定めて安心安全な北海道を目指すものです。100名を超える市民が、「安全運転」と書かれた黄色い旗を手に、国道を走る車などへ向けて交通安全を呼びかけました。



志高く、 バレーボールは明るく楽しく！

伊達市立光陵中学校佐々木涼^{りょうか}さんが、2013 JOC (ジュニアオリンピックカップ) 北海道選抜選手の1人として選ばれています。

小学校5年生の頃、妹が少年団で楽しそうに活動しているのを見てバレーボールを始めたそうです。選出後は、道内の各地で他の選抜メンバーとともに練習を重ねてきました。

セッターとして重要な視野の広さやボールにたどり着く素早さを生かして「全力で頑張ってきます」と緊張した面持ちで答えてくれました。

全国への夢を仲間から託され、支えてくれる周りの人への感謝の気持ちを胸に12月25日から4日間、大坂市での大会に出場します。



光陵中学校バレーボール部員の応援が背中を押してくれます。(前列中央が佐々木さん)

今年7月の「北海道中学校バレーボール大会」で活躍する佐々木さん